

3 高知市地域

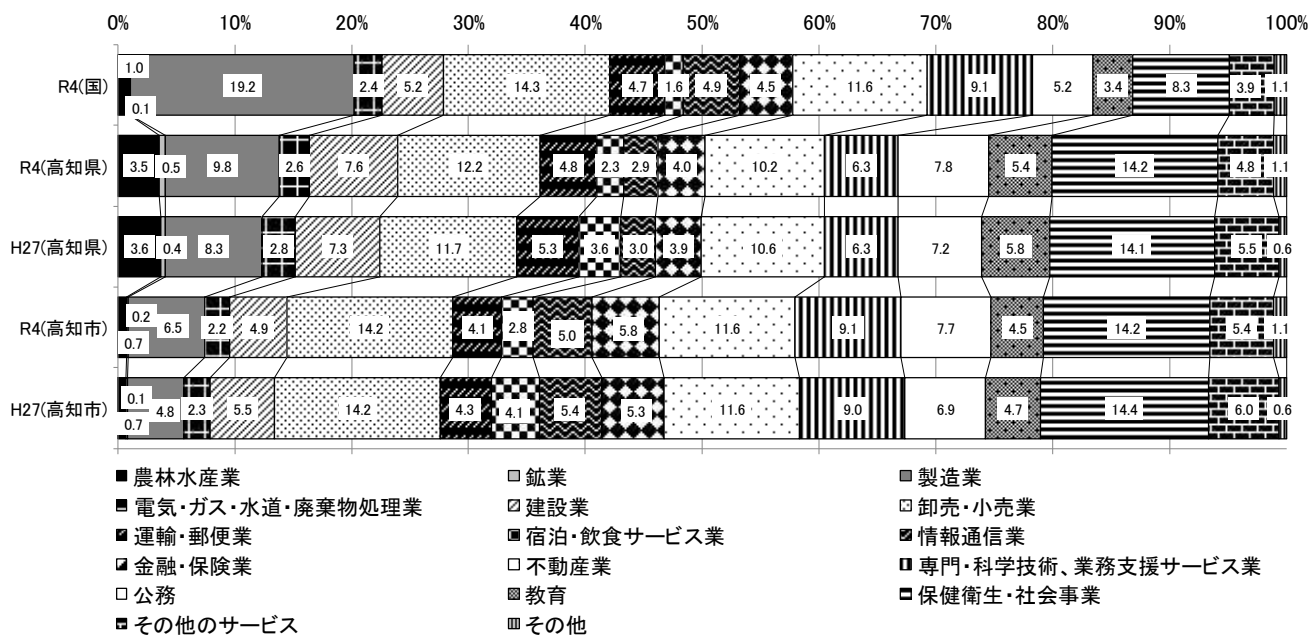
(1) 地域の産業を取り巻く状況

高知市地域は「平成の大合併」により、都市部を中心とした県域の中核機能に加え、田園地域と中山間地域を併せ持つ都市となりました。総人口は、令和2年の国勢調査では326,545人で、県全体の4割余りを占めています。65歳以上の高齢者の比率は、県平均を下回っているものの、他地域と同様に高齢化が進行しています。

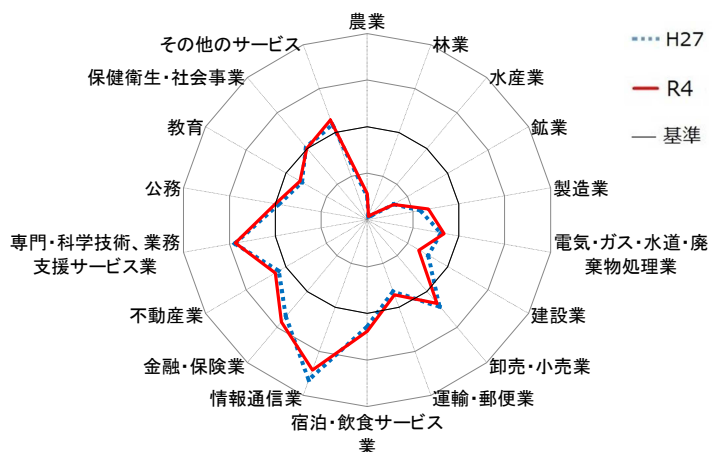
高知市地域の令和4年度の市町村内総生産（名目）は、1,162,847百万円であり、平成27年度と比較すると約3.1%減少しています。なお、令和4年度の県内総生産（名目）に占める割合は約48.3%です。

産業別構成比（令和4年度）は、卸売・小売業や情報通信業、専門・科学技術、業務支援サービス業等の第3次産業が約86.6%と突出していることが特色に挙げられます。

県内（国内）総生産（名目）の産業別構成比



産業構造の特徴



高知県を比較対象とした場合	高知市		高知県を比較対象とした場合	高知市	
特化係数※	H27	R4	特化係数※	H27	R4
農業	0.25	0.28	宿泊・飲食	1.14	1.20
林業	0.04	0.04	情報通信業	1.83	1.71
水産業	0.06	0.08	金融・保険業	1.35	1.43
鉱業	0.33	0.33	不動産業	1.09	1.14
製造業	0.58	0.67	専門	1.44	1.43
電・ガ・水・廃	0.81	0.84	公務	0.96	1.00
建設業	0.76	0.65	教育	0.81	0.83
卸売・小売業	1.21	1.17	保健衛生	1.02	1.00
運輸・郵便業	0.82	0.85	その他サービス	1.09	1.14

※特化係数：高知市の経済活動ごとの構成比を高知県と比較し、高知県から見た相対的な経済活動構成比の大きさを表す指標。

出典：市町村経済統計（高知県）、国民経済計算（内閣府）

農業分野

山間部から沿岸部までのそれぞれの地域で地理的条件に応じた農業が営まれており、沿岸部では花き、平野部では水稲や野菜等の施設園芸を主体とする営農形態となっています。北部の中山間地域では、露地ショウガのほか、地理的な特性を生かして、ユズや四方竹の生産・加工、有機栽培による農産物の生産等が行われています。原油価格の高騰や担い手の減少等により農業経営は全体的に厳しさを増していますが、大消費地に近い地の利を生かして、直販所や街路市等を通じた地産地消の取り組みが進められています。

畜産業については、南部の里山地域と北部の中山間地域において、養鶏と酪農経営が行われ、生産される畜産物の大半は県内で加工・販売・消費されています。飼料代の高騰等により厳しい経営を強いられている一方で、一部の経営体では牧場直営によるスイーツの製造販売等、6次産業化に向けた取り組みも行われています。

林業分野

総面積の約60%を占める森林の約半分が杉やヒノキといった人工林であり、林道、作業道等の基盤整備や森林組合を中心とした間伐等が進められていますが、木材価格の低迷をはじめ、担い手の高齢化や人員不足による後継者不足等の課題があります。

また、大型製材工場や木質バイオマス発電施設等への安定供給を行いながら、さらなる木材の増産を図るため、林業事業体の生産体制の強化や高性能林業機械の導入、路網整備等による生産性の向上が求められています。

特用林産物であるイタドリについては、中山間地域の有望品目として生産拡大を図るとともに、県内各地への生産地域拡大や新商品の開発に向けた取り組みが行われています。

水産業分野

高知沖においては、沖合・沿岸漁業である網漁業が中心となっています。近年は、高齢化や後継者不足による漁業者の減少や気候、海洋環境の変化により漁獲量が不安定となっていることに加え、燃油・資材の高騰等により漁業者の経営が厳しさを増しています。

商工業分野

中心商店街や近隣商店街では、郊外型大型商業施設の増加や商店街の核店舗の減少、消費者の購買方法の多様化等により、空き店舗の増加や歩行者通行量の減少等、厳しい状況が続いています。一方で、高知城歴史博物館や図書館等複合施設「オーテピア」の整備、藤並公園のリニューアル、民間分譲マンションの建設等により、状況が好転しつつあります。

製造業は、機械、食料品、鉄鋼や製紙業等を中心に操業が行われ、高い技術力によって全国展開している企業もあり、新商品の開発や活力のある近隣地域、県外・国外に販路を求める地産外商に取り組んでいます。

観光分野

高知市では、「よさこい祭り」をはじめ、「高知城」や「はりまや橋」、「桂浜」等の観光名所、「坂本龍馬」や「長宗我部元親」等の「歴史」、「土佐のおきやく」等の「食文化」といった、本県を代表するような観光資源を多く有しています。併せて、大型外国客船の寄港再開や連続テレビ小説「あんぱん」に関連した観光キャンペーン等により増加する国内外からの観光客に対して、観光案内機能の強化や周辺地域との広域での連携、効果的な情報発信を行うことで周遊促進と消費喚起に取り組んでいます。

(2) 地域アクションプランの概要

高知市地域では、県都・中核市としての都市機能や役割を十分に果たしつつ、主要農産物の振興に加え、それらを生かした6次産業化の促進や中心市街地の活性化、歴史・文化・自然・食を体感できる観光振興等の取り組みを進めていきます。

農業分野

日本一のグロリオサの産地である三里地区では、各事業主体が連携してより強力に地産外商・輸出を進めていきます。中山間地域では、基幹品目であるユズの振興に加え、(一財)夢産地とさやま開発公社を中心に展開する有機農業の推進等により、山の恵みを所得につなげる地産外商の取り組みを一層促進します。また、引き続き、地域の生産と消費の交流拠点として、直販所の活性化を図っていきます。

林業分野

中山間地域では、イタドリの高知市地域内外における生産拡大や作業効率の向上等に取り組む、需要に対応できる体制を整備することで、引き続き、中山間地域の活性化を図っていきます。

商工業分野

春野地区のベルガモットをはじめとした農産物加工品の開発及び販路のさらなる拡大や環境配慮型産業としての竹資源の活用といった特色ある取り組みを関係機関とともに一層推進していきます。

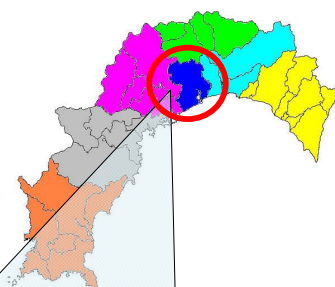
また、高知市をはじめとする官民の各事業主体が、高知市中心市街地活性化基本計画に位置づけられたハード・ソフト両面の取り組みを推進することにより、中心市街地の活性化を図っていきます。併せて、地元利用者はもとより観光客等にとって魅力のある街路市の創出に向け、高知市街路市活性化構想に掲げた各種取り組みを推進し、地域経済の活性化を図っていきます。

観光分野

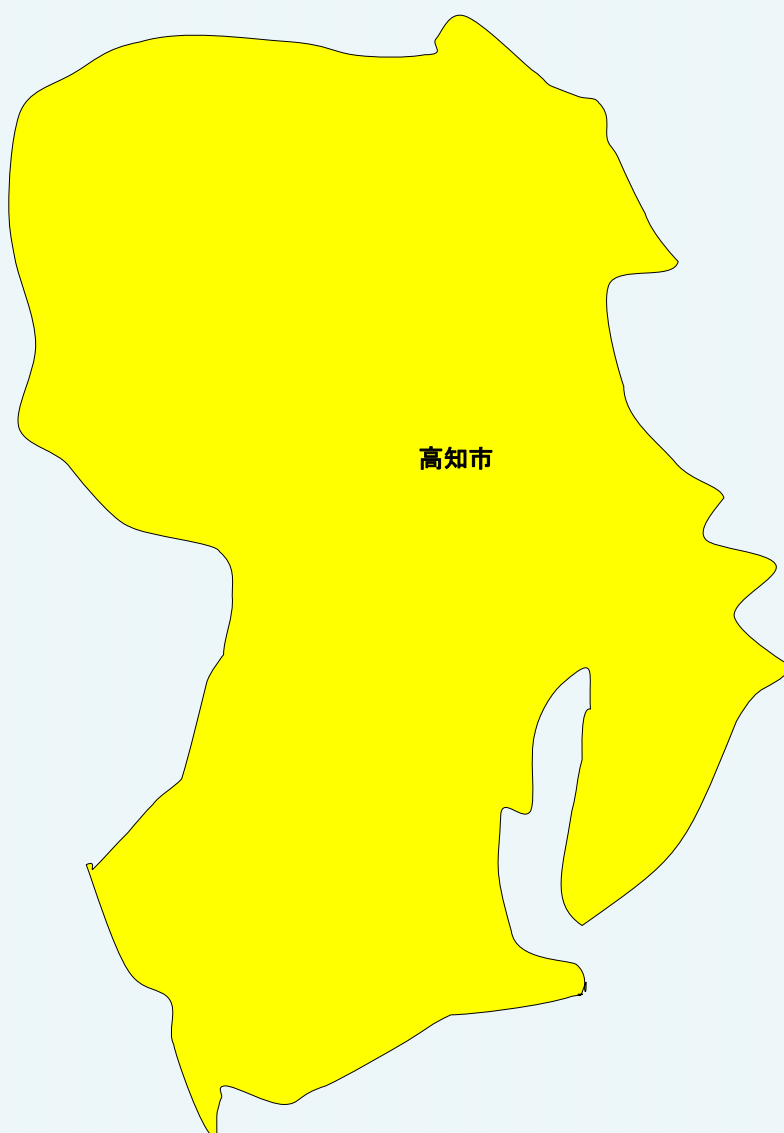
高知市を代表する観光地である桂浜とその周辺地域が一体となった新たな魅力の創出や、よさこい祭り発祥の地としてのブランド化を進めていくとともに、浦戸湾を活用した観光遊覧船の取り組みにより、県内外の観光客の誘客を図っていきます。また、歴史や文化等、高知市が誇る数多くの観光資源の磨き上げや掘り起こし、県内市町村との連携による新たな周遊ルートの開発をはじめとする広域観光の推進等により高知県の周遊拠点都市としての役割を果たしていきます。

(3) 具体的な取り組み

分野	No.	項目
農	1	グロリオサの生産販売対策の強化による産地振興
	2	土佐山地域を核としたユズ産地の振興
	3	有機農産物による土佐山地域の振興
	4	直販店を核とした鏡地域の活性化
	5	加工品充実による直販所の活性化と食の伝承
林	6	イタダリの増産による中山間地域の振興
商工	7	農産物の6次産業化による春野地域の振興
	8	竹資源活用による環境配慮型産業の推進
	9	中心市街地における商業、観光等の基盤強化による都市機能の増進及び経済活力の向上
	10	日曜市をはじめとする土佐の街路市の活性化
観光	11	地域資源の磨き上げと創出による観光振興
	12	よさこい発祥の地としてのブランド力確立と文化の継承・発展
	13	桂浜公園を核とした桂浜エリアの活性化による観光振興
	14	遊覧船による浦戸湾の観光振興



【高知市地域】



1、2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、13、14

高知市地域アクションプラン

分野		農業
AP 名 (実施地域)	No.1 グロリオサの生産販売対策の強化による産地振興 (高知市)	
実施主体	◎JA 高知市、◎JA 高知市三里園芸部花卉部会	
AP への位置づけ	H21.4月	
事業概要	需要の高いサザンウインドの生産拡大を進め、輸出を含めた実需者ニーズを満たす販売対策を強化し、日本一のグロリオサ産地の活性化と農家所得の向上を図る。	

主な取り組み	これまでの主な動き	主な成果・課題
基本技術の徹底	・サザンウインドの栽培技術の確立（H21～） ・農業散布の実態調査及び適切な散布方法等の指導（R3） ・防虫ネット等実証試験（R3～4） ・アザミウマ類への赤色 LED 実証試験（R6） ・ネダニ対策における農薬登録促進のための試験（R7）	【成果】 ・輸出事業計画の策定（R3） ・サザンウインド生産割合 H27：76% → R7：80.7% ・輸出額 H27： 1.1 千万円 → R7：7.9 千万円 ・輸本数 H27：5.3 万本 → R7：34 万本 ・カリスロゼ出荷本数 R 元：－ → R7：3.2 万本 ・産地ビジョン策定（R7）
流通・販売対策（輸出）	・県外への販売会議（年2回） ・切り花品質の向上へ向けた鮮度保持試験（輸送、水質調査）（H30～R2） ・球根養成ほ場の設置及び調査（R2～） →GFP グローバル産地づくり推進事業の活用 ・輸出専用給水剤充填機の導入（R2） ・海外輸出輸送シミュレーション試験（R2） ・海外輸出輸送シミュレーション試験（R2） →次世代国産花き産業確立推進事業の活用 ・輸出事業計画の策定（R3） ・病害虫対策実証試験（R3） →ジャパンフラワー強化プロジェクト推進事業の活用 ・フロアード 2022 への出展（R4） ・海外バイヤー招聘による産地視察（R5） ・産地ビジョンの検討及び策定（R6～） ・ピンク系統の県育成品種栽培者及び市場への聞き取り調査（R6） ・三里地区版黄色系統（ルテア）の栽培歴及び年間作付計画の策定に向けた検討（R6～） ・産地提案書の作成（R7～） ・フラッグシップ輸出産地への登録（R7）	【課題】 ・化学農薬のみに頼らない総合的な病害虫管理 ・市場動向に適応する品種の追加 ・出荷量の減少と輸割割合の増加への対策と安定出荷

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	
販売額※	5.6 億円 (R5)	5.65 億円	5.72 億円		6.0 億円

※園芸年度：前年9月～8月

第5期計画における行程表					
事業概要		R6	R7	R8	R9
病害虫対策の徹底による秀品率の向上 ■JA 高知市、JA 高知市三里園芸部花卉部会 ・秀品率の向上に向けた勉強会等の開催 □県（高知農業改良普及所等） ・勉強会等の開催支援 ・病害虫対策に関する実証試験の実施及び継続的な技術指導					病害虫対策
計画に基づいた安定出荷 ■JA 高知市、JA 高知市三里園芸部花卉部会 ・産地ビジョンの策定及び実行 ・市場との定期的な販売会議 □県（高知農業改良普及所等） ・産地ビジョンの策定に向けた支援			ビジョン作成		計画に基づいた安定出荷
県育成品種の普及 ■JA 高知市、JA 高知市三里園芸部花卉部会 ・新品種の評価及び市場ニーズの調査 □県（高知農業改良普及所等） ・県育成品種の現地実証及び販売拡大に向けた PR 活動			実証 評価		PR 活動
輸出対策 ■JA 高知市、JA 高知市三里園芸部花卉部会 ・産地ビジョンの策定及び実行 ・市場との定期的な販売会議 ・花き展示会や博覧会への出展 □県（高知農業改良普及所等） ・産地ビジョンの策定に向けた支援 ・国内外花き市場調査の実施				市場と連携した PR 活動	

高知市地域アクションプラン		
分野		農業
AP 名 (実施地域)	No.2 土佐山地域を核としたユズ産地の振興 (高知市)	
実施主体	◎高知市土佐山柚子生産組合、◎JA 高知市、◎土佐山ファクトリー(協)、◎旭フレッシュ(株)、◎高知市	
AP への位置づけ	H21.4 月	
事業概要	中山間地域の基幹品目であるユズの生産拡大と高品質化、スマート農業技術の導入、後継者の育成等により経営の安定を図る。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
安定生産	・現地検討会など年 6 回の集合研修 (H21～) ・搾汁施設の整備 (H21) →産振補助金の活用 ・短棘優良系統の試験と導入 (H25～) ・搾汁残渣加工施設 (精油抽出) の整備 (H28) →産振補助金の活用 ・土佐山柚子加工調整施設の県版 HACCP 第 3 ステージ認証取得 (R 元) ・新しい青果用選果機の導入 (R 元) ・ドローン防除試験 (R 元～) ・自動コンテナ洗浄機の導入 (R2) ・ﾌﾟｰﾙ選果機の導入 (R3) ・土佐山柚子加工調整施設における冷凍庫追加整備 (R3) ・土佐山柚子加工調整施設の搾汁ライン改修 (R6) ・ドローン施肥試験 (R6～)	【成果】 ・ユズ未活用果皮 H24～26 平均:111 t →R2～：0 t ・ドローン防除 R 元：－ ha →R7:2.0ha(延べ面積) ・作付面積 R 元：60ha →R7：61ha ・指導農業者認定：2 名 (R7 現在) ・新規就農者：4 名 (R2～R7 累計)
生産基盤の維持	・産地計画の作成 (H28、R4) ・「ユズバトン隊」の育成 (H29～R 元) ・指導農業者の育成 (H29～) ・産地提案書の作成と新規農業者の勧誘 (H30～) ・新植・改植、園内道の整備 (H30～) →果樹経営支援対策事業の活用 ・新規就農者の研修会「ユズの学校」活動 (R2～) ・経営体に対する現状・将来把握のためのアンケート調査 (R4～) ・貸借可能なほ場を把握するための現地調査 (R6) ・新規就農希望者とのマッチング (R6～) ・地域おこし協力隊の募集 (R7～)	【課題】 ・急傾斜・狭い園地による大きな作業負荷への対応 ・土佐山柚子加工調整施設の老朽化への対応 ・高齢化・人手不足への対応

高知市地域アクションプラン

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	
ユズ販売額	1.5 億円 (R4)	1.7 億円			1.9 億円

第 5 期計画における行程表					
事業概要		R6	R7	R8	R9
栽培管理技術の向上による安定生産 ■高知市土佐山柚子生産組合、JA 高知市、旭フレッシュ(株)、高知市 ・スマート農業技術等を活用した生産力強化 ・現地検討会等による技術力向上 □県（高知農業改良普及所等） ・スマート農業に係る導入支援 ・青果・加工用ユズ出荷者への技術支援					
担い手の確保・育成 ■高知市土佐山柚子生産組合、JA 高知市 ・担い手対策の検討と実行 ・流動化可能な園地調査の実施 ・新規就農希望者とのマッチング □県（高知農業改良普及所等） ・担い手対策の実行支援					

高知市地域アクションプラン		
AP 名 (実施地域)	No.3 有機農産物による土佐山地域の振興 (高知市)	分野 農業
実施主体	◎(一財)夢産地とさやま開発公社、連携農家	
AP への位置づけ	H21.4月	
事業概要	土佐山を今後 100 年にわたり豊かに継続させる「土佐山百年構想」に基づき、(一財)夢産地とさやま開発公社を中心として、有機野菜などの生産と販売及び加工品の開発・販売の取り組みを通じて農家所得の向上と地域の振興を図る。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
有機農産物の栽培技術の確立・普及と生産拡大	- 栽培技術の確立・普及活動 (H21～) - 加工品の開発・販売 (H21～) ・ショウガの有機 JAS 認証取得 (H21) ・有機農産物、農薬を使用しない農産物 (ユズ・ショウガ・ジャガイモ等) の生産販売 (H21～) ・肥料を製造する土づくりセンターの増強整備 (H24)	【成果】 - 雇用の創出 H20:11 人 (正規 3 人、パート 8 人) →R6:40 人 (正規 11 人、パート 25 人、短期雇用 4 人) ・商談会への出展等による加工部門の売上高増 R2：49,804 千円 →R5：78,946 千円 【課題】 ・公社の組織体制及び経営状況の改善 ・生産農家の所得向上及び担い手の確保 ・販路拡大 ・営業力の強化
農家の所得向上及び公社の経営体制の安定化	・庭先集荷による集荷販売 (H21～) ・中山間農業複合経営拠点事業戦略の策定 (H29) ・アグリ事業戦略サポートセンターによる実行フォロー (R 元) ・公社全体の収支改善計画の策定 (R 元) →産振アドバイザー制度の活用 ・コロナの影響を踏まえた収支改善計画の見直しと対応策の検討及び収支改善に向けた取り組みの実施 (R2～4) →産振アドバイザー制度の活用	
加工施設の高度化による販路拡大	・土佐山ジンジャーエールの開発・製造 (H23～) ・四方竹加工工場稼働開始 (H26) ・スイーツ加工施設整備・稼働開始 (H28) →産振補助金の活用 ・県版 HACCP 第 3 ステージの認証取得 (H30:清涼飲料水製造) ・自動液体充填機及び自動ラベル貼り機の導入 (R2) →新型コロナウイルス感染症対策産業振興推進特別支援事業費補助金の活用 ・生産性向上及び衛生管理の高度化に向けた施設整備 (R5) →産振補助金の活用	

高知市地域アクションプラン

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
販売額	2.03 億円 (R4)	2.20 億円			2.45 億円

第 5 期計画における行程表					
事業概要		R6	R7	R8	R9
生産農家への栽培技術の普及 ■(一財)夢産地とさやま開発公社 ・有機農業についての営農・技術指導 ・優良母樹からのユズ苗木の栽培及び土佐山柚子生産組合への供給 ・新規作物の試験栽培 □県(農業改良普及所) ・栽培に関する技術指導 有機農産物の生産拡大 ■(一財)夢産地とさやま開発公社 ・公社ほ場及び遊休地、耕作放棄地の活用 ・ショウガ輪作によるほ場の効率活用			調査研究		
			連携農家への技術指導		
			遊休地等の活用による生産拡大		
経営安定化に向けた事業計画の実行 ■(一財)夢産地とさやま開発公社 ・経営安定化に向けた事業計画及び雇用計画の実行 ・外部専門家による経営評価及びアドバイス ・課題解決に向けた新規プロジェクト組成及び実施 □県(地域本部等) ・各種支援制度に関する情報提供			事業計画及び雇用計画の実行		
			新規プロジェクトの検討	新規プロジェクトの実施	
加工品の安定生産、新商品の開発・製造 ■(一財)夢産地とさやま開発公社 ・HACCP に沿った衛生管理への対応 □県(地域本部等) ・商品開発に関する産振アドバイザー制度の活用 の提案 ターゲットを見据えた販路開拓 ■(一財)夢産地とさやま開発公社 ・各種展示商談会やイベントへの出展 ・EC 販売の促進 ・情報発信の拠点づくり □県(地域本部等) ・県外商談会等の情報提供 ・産振アドバイザー制度の活用 の提案			HACCP に沿った衛生管理体制の整備		
			各種展示商談会等への出展 EC 販売の促進		

高知市地域アクションプラン

分野		農業
AP 名 (実施地域)	No.4 直販店を核とした鏡地域の活性化 (高知市)	
実施主体	◎ 鏡村直販店組合「鏡むらの店」	
AP への位置づけ	H21.4月	
事業概要	鏡村直販店組合「鏡むらの店」(万々店、リオ店)は組合員により主に鏡地域の野菜や果物が出荷されている。同組合と関係機関が連携して栽培推進品目を選定し、積極的な栽培支援による生産力向上や、販売強化の支援を進め、売上高及び組合員の所得向上を目指す。	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	R9
売上高※	1.29 億円 (R4)	1.18 億円	1.24 億円		1.35 億円

※暦年

主な取り組み		これまでの主な動き		主な成果・課題	
推進品目の栽培推進		取り組みの内容		【成果】	
		・チーム会の開催（H30～） ・直販店の課題、対応策の検討に向けた直販所活性化セミナーへの参加（R元） ・品薄時期対策として地域外の生産者からの買取販売を開始（トマト・キウリ（H28～）、梨・柿・リンゴ（R元～）、肉類（R3～）） ・推進品目の実証試験（R2～：ホウレンソウ、ブロッコリー、ネギ、キャベツ等） ・栽培経験の少ない組合員等への個別指導（R2～） ・新規栽培者を掘り起こすための普及所だよりの発行（R2～）		・新規組合員（H26～R7累計）：7名 ・Instagramによる情報発信の強化 ・特別組合員制度（チャレンジ出荷枠）による新規出荷（R7～）：4戸	
販売・経営対策		・SNS研修会の実施（H26～28）→産振アドバイザー制度の活用 ・直販所活性化セミナーフォローアップセミナー開催（R2） ・食品衛生法の改正に関する情報提供（R2～3） ・広報用Instagram導入支援（R3～） ・SNSによる情報発信（R4～）→産振アドバイザー制度の活用 ・品揃え等店舗運営向上のため直販所交流商談会への参加（R5～） ・財務分析による経営体制の見直し（R6～） ・特別組合員制度（チャレンジ出荷枠）の新設（R7～）		・農産物の出荷数の減少 ・生産農家の高齢化による出荷量・販売額の減少 ・販売スタッフの不足 ・直販店の認知度の向上 ・施設・設備の高度化	

第 5 期計画における行程表					
事業概要		R6	R7	R8	R9
推進品目の選定と栽培の支援 ■ 鏡村直販店組合「鏡むらの店」 ・推進品目の周知 □県 (高知農業改良普及所等) ・栽培講習会 ・新規栽培者の掘り起こし ・POS 分析支援 ・加工向け品目の検討					
					推進品目の周知
					推進品目の栽培支援
販売商品の充実 ■ 鏡村直販店組合「鏡むらの店」 ・他直販店等の地域外からの商品確保の検討・実践 □県 (高知農業改良普及所・地域本部等) ・POS 分析支援 ・商品開発に関する産振アドバイザー制度の活用 の提案					
					商品確保に向けた検討・実践
経営体制強化 ■ 鏡村直販店組合「鏡むらの店」 ・雇用及び経営体制の強化 ・Instagram を活用した広報活動 ・施設・設備の高度化に向けた検討 □県 (地域本部等) ・各種支援制度及びセミナー等に関する情報提供					
					研修への参加・実践
					経営体制の見直し

高知市地域アクションプラン		
分野		農業
AP 名 (実施地域)	No.5 加工品充実による直販所の活性化と食の伝承 (高知市)	
実施主体	◎JA 高知市女性部直販部会(直販所「真心ふぁーむらぶ」)、◎加工組織なるクラブ	
AP への位置づけ	H24. 4 月	
事業概要	JA 高知市の直販所「真心ふぁーむらぶ」において、地域の農産物に加え、加工組織「なるクラブ」が開発・製造した商品を販売することで、地産地消を推進する。 また、商品開発や地域住民の農業への関心を高める取り組みにより、地域農産物の消費拡大と田舎寿司などの伝統食の伝承を図る。	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	
売上高※	9,064 万円 (R4)	9,925 万円	1.11 億円		1 億円

※暦年

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
直販所「真心ふぁーむらぶ」の販売拡大	・店舗改善（H24～25）→産振アドバイザー制度の活用 ・農家レストラン開催（H24～） ・HACCP の考え方を取り入れた衛生管理への取り組み（R2～） ・運営体制の見直しとレイアウト改善の提案（R2～R3）→直販所事業戦略策定アドバイザーの活用 ・商品 PR のための POP 掲示（R4） ・直販所経営力向上セミナー受講（R4～R5） ・他直販所との商品交流（R4～） ・レイアウト変更、自動ドア導入工事（R7） ・会員要件の緩和（R7～）	【成果】 ・真心ふぁーむらぶ販売額 H27：7,460.9 万円→R7：1.11 億円 ・なるクラブ販売額 H27：2,513.6 万円→R7：4,232.2 万円 ・なるクラブが、地産地消等優良活動表彰において中四国農政局局長賞を受賞（H29）
加工組織「なるクラブ」を中心とした加工品製造の充実	・農産物加工施設（婦人の家）の拡充整備（H25）→産振補助金の活用 ・新メニュー開発（H29）→産振アドバイザー制度の活用 ・チーム会による POS 分析に基づく製造計画策定（H26～） ・土佐の料理伝承人に選定（H30） ・経営分析、運営体制の見直し、新メニューの試作（R2～）→6 次産業化サポートセンター事業の活用 ・HACCP の考え方を取り入れた衛生管理への取り組み（R2～） ・とさのさとへの出荷開始（R2～） ・新メニュー追加（R4） ・食品表示研修（R4） ・販売価格の見直し（R4～） ・商品のメニュー見直し（R5） ・目玉商品のフェアの実施（R7～）	【課題】 ・レイアウトの改善 ・新商品の開発と商品の付加価値向上 ・消費者ニーズに合ったサービスの充実 ・他の直販所との連携による商品の充実 ・既存商品の見直しと重点化による収益性の向上 ・販売及び加工部門の人手不足

第 5 期計画における行程表						
事業概要			R6	R7	R8	R9
顧客サービスの充実 ■ 直販所真心ふぁーむらぶ ・運営体制の見直し及びレイアウトの改善 ・会員要件の緩和による商品ラインナップの充実 ・高単価の加工品（スイーツ等）のラインナップの充実 □ 県（地域本部・高知農業改良普及所等） ・支援制度に関する情報提供 他の直販所との連携 ■ 直販所真心ふぁーむらぶ ・他直販店との連携による商品の確保及び充実 □ 県（地域本部・高知農業改良普及所等） ・支援制度に関する情報提供				レイアウト 検討・改善		
				運営体制見直し 会員要件の緩和		会員の確保
					他の直販所との連携	
新商品の開発及び販売 ■ 加工組織なるクラブ ・消費者ニーズを踏まえた高付加価値商品の開発 □ 県（地域本部・高知農業改良普及所等） ・商品開発に関する産振アドバイザー制度の活用 の提案 運営体制の見直しによる収益性の向上 ■ 加工組織なるクラブ ・売上げ実績に基づき、製造計画及び人員体制の見直し ・既存商品の効率化に向けた見直し・検討 ・物価上昇に対応した販売価格の改定 □ 県（地域本部・高知農業改良普及所等） ・POS 分析支援 ・支援制度に関する情報提供、チーム会での助言				既存商品 の見直し	既存商品の効率化に 向けた検討	

高知市地域アクションプラン		
分野		林業
AP 名 (実施地域)	No.6 イタドリの増産による中山間地域の振興 (高知市)	
実施主体	◎ 高知県イタドリ生産普及販売促進協議会、連携農家	
AP への位置づけ	H29.4月	
事業概要	出荷量において全国一であり、一般的に県内で食されているイタドリを販売拡大していくため、栽培イタドリの県内産地を拡大するとともに、新商品の開発等を行うことにより高知県産イタドリのブランドを確立し、中山間地域における所得の向上を図る。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
イタドリの安定生産	・県下全域を対象としたイタドリ苗の販売（H29～） ・高知市及びJA 高知市等による栽培技術講習会の実施（H30、R元） ・JA 高知市女性部による加工技術講習会の実施（H30～） ・集落活動センター（おおのみきた、柳野、下川口家）を対象とした出前講座の実施（R元～2）→中山間地域振興アドバイザーの活用 ・冷東施設整備（R元）→こうち農業確立総合支援事業の活用 ・イタドリ摘葉試験の実施（R元） ・森林技術センターによる品種選抜研究（R3～）	【成果】 ・県内における新たな栽培地域数 - H29：0地域 →R6：76地域(累計) ・協議会会員の新規加入 2事業者（R2）、 1事業者（R7） ・新商品開発 6品（H29～R6累計）
組織体制の強化	・高知県イタドリ生産普及販売促進協議会の設立（H30） （構成員：高知県食品工業団地事業協同組合、食品メーカー、JA 高知市、JA 高知県、高知市、県） ・高知県イタドリ生産普及販売促進協議会役員会・総会の開催（H30～） ・一次加工商品規格の統一（H30） ・一次加工品納入価格の見直し（H30～） ・協議会会員の新規加入（R2：2集落活動センター、R7：1集落活動センター） ・持続可能な生産供給体制の検討及び生産者・加工者での協議（R4～） ・首都圏等における各種展示会等への出展（H29～） ・首都圏でのテストマーケティング（H30）→産振補助金の活用 ・食品メーカー等による新商品の開発 ・イタドリ葉に関する特許出願中（H30～） - R6：抗アレルギー作用、脂肪燃焼作用、葉の乾燥粉末物質の製造方法について取得 ・県版 HACCP 第2ステージ認証（R4：JA 高知市女性部鏡支部）	【課題】 ・生産者の人手不足 ・県内栽培地域のさらなる拡大 ・組織体制の強化
販路拡大		

高知市地域アクションプラン		
分野		林業
AP 名 (実施地域)	No.6 イタドリの増産による中山間地域の振興 (高知市)	
実施主体	◎ 高知県イタドリ生産普及販売促進協議会、連携農家	
AP への位置づけ	H29.4月	
事業概要	出荷量において全国一であり、一般的に県内で食されているイタドリを販売拡大していくため、栽培イタドリの県内産地を拡大するとともに、新商品の開発等を行うことにより高知県産イタドリのブランドを確立し、中山間地域における所得の向上を図る。	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	
加工品の販売額	470万円 (R4)	610.2万円	509.5万円		650万円

第5期計画における行程表					
事業概要		R6	R7	R8	R9
高知県下での産地拡大 ■連携農家 ・耕作放棄地等を活用した栽培面積の拡大 ・皮剥ぎ機の導入試験 □市（農林水産課） ・優良株の普及支援 □県（農業改良普及所・森林技術センター・地域本部等） ・現地検討会の実施 ・栽培技術及び病害虫防除指導 ・収量の多い優良品種の研究・選定		皮剥ぎ機導入試験			収量の多い品種の栽培
協議会の取り組み強化 ■高知県イタドリ生産普及販売促進協議会（事務局・食品工業団地） ・生産販売計画の策定 ・協議会会員の増加 □市（農林水産課） ・協議会の運営支援、アドバイス及び情報提供 ・生産販売計画の実行支援 □県（農業改良普及所・森林技術センター・地域本部等） ・協議会への参画によるアドバイス ・各種支援制度に関する情報提供 ・生産販売計画の実行支援		生産販売計画の策定			
生産販売計画に基づく販売促進 ■高知県イタドリ生産普及販売促進協議会（事務局・食品工業団地） ・商品販売方法等の検討 ・特許技術を活用したPR ・展示会等への出展 □市（農林水産課） ・展示会等での販売促進支援 □県（地域本部等） ・展示会等での販売促進支援 ・各種支援制度に関する情報提供		商品販売方法の検討			展示会等への出展

高知市地域アクションプラン		
分野		商工業
AP 名 (実施地域)	No.7 農産物の6次産業化による春野地域の振興 (高知市)	
実施主体	◎(有)スタジオ・オカムラ、連携農家	
AP への位置づけ	H22.4月	
事業概要	春野地域のベルガモットをはじめとした農産物を活用した新たな加工品を開発するとともに、当該加工品の新たな販路を拡大し、農家所得の向上及び雇用の創出による地域の振興を図る。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
農産物の生産体制の整備	・ベルガモット等の栽培技術確立支援（H22～） ・農産物加工場の整備（H23）→産振補助金の活用 ・低温乾燥設備の導入（H26） ・県版 HACCP 第2ステージの認証取得（H29） ・県版 HACCP 第3ステージの認証取得（R2） ・ベルガモット連携農家の掘り起こし（R6～） ・土佐ベルガモット協議会の設立（R7）	【成果】 ・加工場の増設による雇用創出 R6：7人 （正規3人、パート4人） ・ベルガモット加工品の商品開発：12商品（H27～累計） ・業務用（洋菓子店向け）ベルガモット商品開発：2商品（R3～） ・ベルガモットの連携農家 R7：12戸 ・ベルガモット生産面積 R7：1.5ha 【課題】 ・加工品の増産体制の整備 ・連携農家の掘り起こし ・EC販売の強化 ・新商品の開発
加工品の販路拡大	・各種商談会への参加（H24～） ・PB商品、OEM生産の展開（H25～） ・お中元、お歳暮へのギフトカタログ掲載（H25～） ・業務用商品（ベルガモット・ショウガ）の販売（R3～） ・調香分野の教育機関や専門家（調香師）への香料販売（R4～） ・生産現場の改善及びHACCPの見直し（R7）→生産性向上推進アドバイザー制度活用 ・GI（地理的表示保護制度）の取得申請準備（R7～）	
新たなチャネルに向けた商品開発	・食品メーカー向けのベルガモット残渣の有効利用（R3～） ・香料メーカー等と連携したベルガモットオイルの活用方法の検討（R4～）	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	
販売額	8,707万円（R4）	9,364万円	1.11億円		1.2億円

第5期計画における行程表					
事業概要		R6	R7	R8	R9
増産に向けた体制強化 ■(有)スタジオ・オカムラ、連携農家 ・ベルガモット栽培技術の指導及び周知 ・連携農家の掘り起こしによる香料原料の生産拡大 ・増産に向けた設備の導入 □県（地域本部等） ・各種支援制度に関する情報提供 ・産振補助金の活用提案				連携農家の掘り起こし	
				設備導入の検討	設備導入
首都圏及び関西圏をメインとした販路拡大 ■(有)スタジオ・オカムラ ・各種商談会への参加 ・香料メーカーへの販路開拓 ・OEM先との連携強化及び新規開拓 ・EC販売等の営業強化 ・GI（地理的表示保護制度）の取得に向けた取り組みの実施 □県（地域本部等） ・商談会等に関する情報提供				各種商談会への参加	
					GI取得に向けた取り組みの実施
香料メーカーとの連携による商品開発 ■(有)スタジオ・オカムラ ・品質及び安全性の分析 ・分析結果を踏まえた新商品の検討 □県（地域本部等） ・各種支援制度に関する情報提供 ・産振アドバイザー制度の活用提案			品質等の研究		新商品の開発
					新商品の販売

高知市地域アクションプラン		
分野		商工業
AP 名 (実施地域)	No. 8 竹資源活用による環境配慮型産業の推進 (高知市)	
実施主体	◎(株)コスモ工房、◎(同)高知竹材センター	
AP への位置づけ	H25.4月	
事業概要	県産竹材を活用した素材生産を拡大することにより、森林保全と環境配慮型産業の推進を図る。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
県産竹材を活用した素材の安定生産（コスモ工房）	・県外見本市や商談会等（ジャパンホームショー、ふるさと建材家具見本市）への出展（H21～） ・自動車用竹/ハンドル製造メーカーへの竹/ラミナ材供給（H24～R3） ・土佐山に第二工場を整備（H27） ・県外竹/ブラジ製造メーカーへの竹の竹の柄供給（H27～） →コロナ禍の影響でメーカーが仕入れ先を国内へシフトしたことにより、国内シェア約 9 割 ・竹集成材を建材として県外へ供給（R4～） → 大阪・関西万博のパビリオン（ゼリジャパン）に使用（R6） ・「高知県竹資源活用推進プラットフォーム」の立ち上げに参加（R7）	【成果】 （コスモ工房） ・竹/ラミナ材を建材として県外へ供給 ・雇用の創出 H24：5 人 （正規 5 人） →R6：13 人 （正規 11 人、パート 2 人） （高知竹材センター） ・原竹及び加工品の販売額 R2：90 万円 →R7：103.1 万円
県産竹材の供給体制構築及び販路開拓（高知竹材センター）	・(同)高知竹材センター設立（H28） ・シイラ漬け漁に用いる原竹の販売（H30） ・竹製の住宅用フェンスの試作品開発（R 元） ・飛沫対策の竹製アクリル板立ての試作（R2） ・五台山竹林整備（東孕地区 6ha）（R5～）	【課題】 （コスモ工房） ・高品質な原竹の仕入れ ・販路拡大 （高知竹材センター） ・販路開拓

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	
(1)売上高（コスモ工房）※	6,767 万円（R4）	7,970.4 万円	8,124.7 万円		8,000 万円
(2)売上高（高知竹材センター）※	419 万円（R4）	212 万円	103.1 万円		844 万円

※(1)暦年、(2)2月～1月

第 5 期計画における行程表								
事業概要			R6	R7	R8	R9		
加工技術の継承と技術力向上による生産体制の強化 ■ (株)コスモ工房 ・原竹の確保 ・竹集成材の加工技術の継承 集成材及び突き板の販路拡大 ■ (株)コスモ工房 ・親会社と共同での商談会への出展 ・既存顧客等への営業活動 ・HP での情報発信 □県（地域本部等） ・商談会等の情報提供						生産体制の強化		
						販路拡大		
竹材の質の向上 ■ (同)高知竹材センター ・竹林整備による需要の高い孟宗竹の増産 原竹及び加工品の販路開拓 ■ (同)高知竹材センター ・原竹や住宅用フェンスなど既存商品、竹粉の販路開拓 （農家、大阪大学等教育機関、(株)共生等の県外企業など） ・竹繊維を活用した新材料への活用 ・HP、Facebook での情報発信 □県（地域本部等） ・関係機関への橋渡し						竹材の質の向上		
						販路開拓		

高知市地域アクションプラン

分野		商工業
AP 名 (実施地域)	No.9 中心市街地における商業、観光等の基盤強化による都市機能の増進及び経済活力の向上 (高知市)	
実施主体	◎高知市、高知市商店街振興組合連合会ほか関係団体	
AP への位置づけ	H21.4月	
事業概要	高知市中心市街地活性化基本計画に基づき、多様な主体の参画のもとに、中核市として賑わいと活力ある中心市街地の形成を目指し、都市機能の増進と経済活力の向上を図る。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
高知市中心市街地活性化基本計画の推進	・高知市中心市街地活性化基本計画（第二期計画）の推進 （H30.4～R5.3、計画登載 60 事業） ⇒主な事業：丸ノ内緑地整備事業、レンタサイクル事業、観光案内所整備事業、帯屋町一丁目地区複合施設整備事業 ⇒進捗率 97%（登載 60 事業中 58 事業が「事業完了」または「事業実施中」） ⇒評価指標の目標達成「中心市街地の居住人口の割合」基準値 1.52%（H28）最新値 1.83%（R5.4）（R4 目標値:1.65%） ・高知市中心市街地活性化基本計画（第三期計画）の策定・推進（R5.4～R10.3、計画登載 59 事業） ⇒主な事業：空き店舗を活用した創業支援サポート事業、おまち多目的広場活用事業、商店街等人流分析事業、商店街イベント事業、外国人観光客の受入おもてなし事業、中心市街地空き店舗ツアー事業、タウンモビリティ事業	【成果】 ・第三期計画 進捗率 100% （登載 59 事業が「事業完了」または「事業実施中」） ・評価指標の目標達成 「中心市街地の居住人口」（第三期から）基準値 5,529 人(R3) 最新値 5,825 人(R7.4) （R9 目標値 5,776 人） ・第三期計画策定（R5.3.17 内閣府認定） 【課題】 ・中心市街地の居住人口が増加している一方で、営業店舗数が減少 ・新型コロナウイルス感染症の影響等により減少した来街者数・滞在時間の回復
高知市中心市街地活性化基本計画のフォローアップ及び計画の見直し	・高知市中心市街地活性化協議会の開催（H23～R7、計 18 回） ・内閣府への定期フォローアップ報告（H27～、毎年 5 月） ・第三期高知市中心市街地活性化基本計画策定検討委員会の開催（R3.11.18、R4.3.30、6.6、9.9、11.8） ・高知市中心市街地活性化協議会を開催し、第二期計画の最終フォローアップ結果の報告及び意見を聴取（R5.5.23）	高知市中心市街地活性化協議会の開催

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	
(1)空き店舗率	17.0% (R4)	15.2%	14.7%		14.4%
(2)歩行者通行量（17 地点・冬季・平日休日 2 日の合計）	105,613 人 (R4)	114,913 人	122,452 人		128,004 人

第 5 期計画における行程表					
事業概要		R6	R7	R8	R9
計画搭載 59 事業の推進 ■高知市 ・空き店舗を活用した創業支援サポート事業（H25～R9） ・横堀公園整備事業（H25～R9） ■商店街・民間事業者等 ・商店街等人流分析事業（R6～R9） ・商店街イベント事業（H25～R9） ・「学生×商店街」魅力発信事業（R5～R9） ・中心市街地空き店舗ツアー事業（R5～R9） ・タウンモビリティ事業（H25～R9） □県（地域本部等） ・各支援制度の活用提案					計画登載 59 事業の推進
高知市中心市街地活性化協議会の開催及び定期フォローアップ ■高知市 ・内閣府への定期フォローアップ報告（毎年 5 月） ・事業の進捗等による計画変更 ■高知市中心市街地活性化協議会 ・定期フォローアップ報告及び計画変更に係る意見提出 □県（地域本部等） ・活性化協議会への参加、活性化基本計画のフォローアップ					高知市中心市街地活性化協議会の開催
					内閣府への定期フォローアップ報告

高知市地域アクションプラン		
分野		商工業
AP 名 (実施地域)	No.10 日曜市をはじめとする土佐の街路市の活性化 (高知市)	
実施主体	◎高知市、◎出店者 3 組合ほか関係団体等	
AP への位置づけ	H28.4 月	
事業概要	「高知市街路市活性化構想」に掲げた事業を実施することにより、地元利用者や観光客、出店者等、関係者にとって魅力ある街路市を創出し、来客数、出店者数の増加を図り、地域経済の活性化を目指す。	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	
(1)新規出店者数	14 件 (R4)	21 件			20 件
(2)れんげい小間売上高	—	1,571 万円			830 万円

主な取り組み		これまでの主な動き		主な成果・課題	
		取り組みの内容			
街路市活性化構想の推進		・登載 41 事業中、41 事業着手済み (H27～R5) ・高校や大学による日曜市での活動協力 高知商業高校 (H23～)、県立大 (H27～) ・小中学校等の出店支援、販売体験 ・学習の場としての活用 (通年) ・段階的な出店基準の規制緩和 (H27～R4) - 第 1 弾 (H27)：手作り食品製造者及び手作り工芸品等製造者による出店 - 第 2 弾 (H30)：グループによる出店及び固有店舗を 1 店舗保有する個人事業主の出店 - 第 3 弾 (R 元)：件数を限定した火気使用を伴う調理食 ・Facebook、Instagram による情報発信 (通年) ・出店者向けのセミナーの実施 (R7) → 産振アドバイザー制度の活用		【成果】 ・出店基準の緩和による新規出店者数の増加 ⇒72 件 (H27～R6 累計) ・毎週のれんげい小間出店やイベント実施による回遊性の向上 【課題】 ・出店者の撤退 ・新規出店者の確保及び廃業者の抑制 ・出店基準のさらなる緩和 (火気利用・酒類販売・役務提供等) ・次期構想の方向性の検討	
街路市活性化構想の見直し・フォローアップ		・街路市運営協議会の開催 (年複数回) ・街路市活性化推進委員会の開催 (年 1 回)		・各自治体での輪番出店希望者の減少 ・新たな魅力的なイベントの開催 ・インバウンド観光客の受入体制の構築	
れんげいこうち日曜市 出店事業の推進		・県内市町村の輪番出店 (通年) ・れんげい小間に高知市ブースを追加 (R5～) ・れんげいスタンプラリーの開催 (3 月開催・H30～R4) ※R2 中止 ・酒類販売の解禁 (R7～)			

第 5 期計画における行程表					
事業概要			R6	R7	R8 R9
街路市活性化のための事業推進 ■ 高知市 ・街路市活性化構想に基づいた事業の実施 ・出店基準の緩和の検討 ・地域おこし協力隊の任用による HP・SNS の情報発信の強化 ■ 出店者 3 組合及び関係団体 ・高知市との連携による街路市の活性化 □ 県 (地域本部等) ・アドバイザー制度など各種支援制度の情報提供及び活用提案					街路市活性化のための事業推進 出店基準の緩和の検討 Instagram の開設 HP・SNS における情報発信の強化
次期構想の策定及びフォローアップ ■ 高知市 ・次期構想 (R7～)に係る調査の実施・策定 ・街路市活性化推進委員会での検討及びフォローアップ ■ 出店者 3 組合及び関係団体 ・次期構想策定及びフォローアップへの参画 □ 県 (地域本部等) ・街路市活性化推進委員会への参画				策定 次期構想の実施 フォローアップ	
れんげいこうち日曜市出店事業の推進 ■ 高知市 ・来客数増加に向けた「れんげいこうち日曜市出店事業」の持続・発展 ・新たなイベントの検討 ・出店基準の緩和 (酒類販売の解禁) ■ れんげい市町村 (33 市町村) ・日曜市への単独または輪番出店による観光及び地場産品の PR □ 県 (地域本部等) ・輪番小間の出店調整				れんげいこうち日曜市出店事業の推進 酒類販売の規制緩和 出店基準の緩和の検討	

高知市地域アクションプラン		
分野		観光
AP 名 (実施地域)	No.12 よさこい発祥の地としてのブランド力確立と文化の継承・発展 (高知市)	
実施主体	◎高知市、◎よさこい祭振興会、◎(公社)高知市観光協会、そのほか関係団体等	
AP への位置づけ	H21.4 月	
事業概要	年間を通じてよさこいの魅力を向上させることにより観光客の誘致を図るとともに、「よさこい」発祥の地としての地位の確立・ブランド化に取り組む。	

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
よさこい祭りの運営体制の充実	・コロナ感染防止対策会議の実施（R4） ・「2022 よさこい鳴子踊り特別演舞」の開催（R4） 参加チーム 96 チーム 踊り子 約 6,600 人 来場者 約 31 万人 ・運営費に加えて、感染症対策費への助成を実施（R4） ・全会場での通常開催に向けた取り組み（R5） ・高知大学等の教育機関と連携した会場運営支援等（R5） ・よさこい祭り本番での県市からの職員派遣による運営支援（R5～）	【成果】 ・第 71 回よさこい祭りの開催（R6） 参加チーム 184 チーム 踊り子 約 17,000 人 来場者 約 87 万人 ・第 72 回よさこい祭りの開催（R7） 参加チーム 188 チーム 踊り子 約 18,000 人 来場者 約 97 万人
県外のよさこいでの観光 PR の強化	・県外イベント等でのよさこいの PR 活動（H27～） ・第 70 回記念大会の積極的な広報（R5） ・公式ロゴマーク、よさこい印帳の制作（R5） ・よさこい LINE の運用（R5～） ・高知のよさこいイメージイラストを活用した PR（ポスター・フラフ・ラッピング電車等）（R5） ・原宿表参道元氣祭スーパ－よさこいをきっかけとした渋谷区との観光・文化交流協定の締結（R6） ・よさこいを通じた地域交流の実施（R6～） ・大阪・関西万博会場でのよさこい演舞による観光 PR（R7）	【課題】 ・各競演場等の人手及び運営費の不足 ・よさこい発祥の地・高知市の認知度向上 ・よさこい情報交流館の展示・体験スペースの有効活用、イベント情報等の発信、インバウンドの誘客強化
高知よさこい情報交流館の充実	・高知よさこい情報交流館オープン（H25） ・はりまや橋商店街と連携してよさこい鳴子踊りの披露（H25～） ・企画展開催（H25～） ・体験プログラムの実施（H25～） ・展示スペース拡張（H27） ・開館 5 周年記念事業の実施（H30） ・開館 10 周年記念事業の実施（R5） ・来館者 50 万人記念イベントの実施（R5） ・窪之内英策 原画展（R5） ・高知よさこい情報交流館の魅力向上プロジェクトチームの立ち上げ（R6） ・公式 Instagram・公式 X 開設による情報発信の強化（R7） ・来館者 60 万人記念イベントの実施（R7）	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	
(1)よさこい祭り来場者数	107 万人 (R5)	87 万人			120 万人
(2)高知よさこい情報交流館入館者数※	29,595 人 (R4)	46,389 人			60,000 人

※暦年

第 5 期計画における行程表					
事業概要			R6	R7	R8 R9
よさこい祭りの運営体制の充実					
■ 高知市、よさこい祭振興会、(公社)高知市観光協会					
・よさこい祭り、よさこい全国大会の充実			持続可能な運営体制の構築		
・土佐学生よさこい大会の開催支援					
・持続可能な祭りの開催に向けた関係者協議			競演場・演舞場の活性化		
よさこい祭り発祥の地としてのブランド化の推進					
■ 高知市					
・「よさこい発祥の地・高知市」の通年 PR			よさこい祭り発祥の地としてのブランド化の推進		
・原宿表参道元氣祭スーパ－よさこいへの協賛による観光 PR					
・県外のよさこい関連イベントにおける観光 PR			県外のよさこい関連イベントにおける観光 PR		
高知よさこい情報交流館の充実					
■ 高知市、指定管理者					
・各展示・体験スペースの積極的な活用			インバウンド対応の強化		高知よさこい情報交流館の充実
・魅力向上につながるコンテンツ強化					
・インバウンド観光の集客強化					
・イベント開催時等の効果的な情報発信			魅力向上プロジェクトにおける魅力向上策の検討・実施		
・公式 SNS による情報発信の強化					
・魅力向上プロジェクトチームにおける魅力向上策の検討および実施					公式 SNS による情報発信の強化

高知市地域アクションプラン		
分野		観光
AP 名 (実施地域)	No.13 桂浜公園を核とした桂浜エリアの活性化による観光振興 (高知市)	
実施主体	◎高知市、○(株)はりま家、民間事業者	
AP への位置づけ	R2.4 月	
事業概要	県内最大の観光施設である桂浜公園を、自然景観と歴史資源を生かした学びや憩い、楽しみが溢れる公園として整備し、国内外からの観光入込客数の増加を図る。 また、桂浜公園の魅力アップによる集客効果にあわせて観光案内機能を強化することにより、県内各地への周遊を促進する。	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	
桂浜公園来園者数※	580,995 人 (R4)	653,604 人	685,573 人		870,000 人

※暦年

主な取り組み	これまでの主な動き	
	取り組みの内容	主な成果・課題
桂浜公園整備	- 桂浜公園整備基本計画策定（H28） - 公的施設（休憩所等）整備の実施（R3） →観光施設等緊急整備事業費補助金の活用 - 桂浜公園包括的指定管理の開始（R4～） - 指定管理者によるイベントの開催（R4～） - 海の露店市（バザール）、海のハロウィンなど - 商業エリアのリニューアルオープン（R5） - 高知灯台、椿の小径の整備（R4～R5） →観光振興推進総合支援事業費補助金の活用 - ボランティアガイドによる草花ガイドツアーの造成（R4～） - 国民宿舎桂浜荘の利活用検討（R4～） - Park-PFI による旧国民宿舎桂浜荘の整備・管理運営事業者の公募（R6） - 選定された事業者による旧国民宿舎桂浜荘の改修（R7～）	【成果】 - 桂浜公園来園者数の増加 R4：580,995 人 →R7：685,573 人 【課題】 - 来場者増加に向けた新たな賑わいづくり - 旧国民宿舎桂浜荘の活用 - さらなる県内周遊の促進 - 桂浜栈橋の活用
船着き場整備	- 実施設計の作成（R 元） - 設置工事（R2） - 桂浜防波堤内に整備予定の栈橋について関係者協議（R4～）	

第 5 期計画における行程表					
事業概要		R6	R7	R8	R9
回遊性向上及び新たな賑わいづくり ■高知市、指定管理者 ・イベント実施による賑わい創出及びナイトタイムエコノミーの推進 ・大型連休やイベント開催時等の道路渋滞対策の検討・実施					
公園全体の魅力向上 ■高知市、民間事業者 ・民間活力の導入による旧国民宿舎桂浜荘の新たな利活用 ・基本計画に基づいた施設整備の推進					
周遊拠点としての機能強化 ■高知市 ・観光情報の充実化 ・市内にある観光施設とのタイアップ					
船着き場の活用 「No.14 遊覧船による浦戸湾の観光振興」の取り組みによる					
防波堤整備工事 □国（四国地方整備局） ・津波防波堤整備の実施 □県（港湾・海岸課等） ・桂浜栈橋の移設協議 ※津波防波堤の整備により現行の桂浜栈橋が使用できなくなった場合に、関係機関との調整協議が必要					

高知市地域アクションプラン

分野		観光
AP 名 (実施地域)	No.14 遊覧船による浦戸湾の観光振興 (高知市)	
実施主体	◎(株)土佐レジン	
AP への位置づけ	H21.4月	
事業概要	浦戸湾を活用した観光遊覧船の取り組み等により県内外からの観光客の誘客を図る。	

指標	出発点	実績			目標
		R6	R7	R8	
観光遊覧船の乗船客数	1,266 人 (R4)	1,110 人	1,535 人		2,000 人

主な取り組み		これまでの主な動き		主な成果・課題	
遊覧コースの拡充による魅力向上		取り組みの内容		【成果】	
		・新たな発着場での運行開始（H29～） ・桂浜新栈橋設置（R2） ・コンベンション協会によるツアーの造成（R2～） ・遊覧コースのPRと運航における安全性の確立と効率化のためのシステム構築（R3）→産振補助金の活用 ・桂浜コースの安全運航に向けたトライアウト（R3～4） R3：3回、R4：3回 ・現浮栈橋の県の処分方針の決定に伴う事業継続に向けた協議（R6）		・運行回数 R2：110回 R3：142回 R4：181回 R5：190回 R6：174回 ・乗船客数 R2：551人 R3：824人 R4：1,266人 R5：1,282人 R6：1,110人	
県内外へのPR活動		・SNS、HPによる情報発信（H27～） ・観光案内所等へのリーフレットの設置 ・各テレビ局での生中継 ・TVCMによる情報発信（R4） →高知市広告活用販売促進支援事業の活用		【課題】 ・現浮栈橋の処分に伴う事業継続 ・既存コースの魅力向上	

第5期計画における行程表					
事業概要			R6	R7	R8 R9
既存遊覧コースの磨き上げ及び新たな遊覧コースの造成 ■(株)土佐レジン ・乗船者の満足度、ニーズの把握 ・既存遊覧コースの改良及び新たな遊覧コースの検討 (桂浜コース、サンセットクルーズ等) ・乗降地の拡充に対応した受入体制の検討 ・各種イベントの実施 □県 (地域本部等) ・各種支援制度の活用提案 ・新たな発着場の検討					
観光客に向けたPR活動 ■(株)土佐レジン ・HPやSNS、観光情報誌への掲載等による情報発信 □県 (地域本部等) ・Instagram等県の情報発信ツールを用いたPR イベントへの参加 ■(株)土佐レジン ・イベント参加による遊覧船の認知度向上 □県 (地域本部等) ・イベント参加のサポート				既存コースの磨き上げ及び新コースの検討	
				観光客に向けたPR活動	
				イベントへの参加	